

プロラクチン(PRL)		1002000		
		担当部署		
PRL		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<p>検体中にマクロプロラクチンが含まれていると、測定値に正の誤差を与える影響がある。</p> <p>マクロプロラクチンは、プロラクチンとヒトイムノグロブリン G の複合体と考えられているが、プロラクチンの凝集体も含まれている可能性がある。</p>		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		<p>1)採取容器違いの検体</p> <p>2)バーコードラベルの貼られていない検体</p> <p>3)固形物</p> <p>4)粘性のある検体</p>		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		男性(102 例) 3.0 ～ 17.3 ng/mL 女性(25 例) 1.6 ～ 21.9 ng/mL AIA-パック CL PRL 添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	3	17.3	1.6	21.9	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>プロラクチンは脳下垂体前葉から分泌されるアミノ酸 198 個からなる蛋白ホルモンで、視床下部由来のプロラクチン分泌促進因子(PRF) と分泌抑制因子(PIF) によって調節されている。</p> <p>PIF による抑制の方が優位であるが、主要な PIF はドーパミンである。臨床的に PRL 値が問題となるのは、高プロラクチン血症で、男女比 1:8 と女性に多い。</p> <p>原因としてはプロラクチン産生腫瘍癌であるプロラクチノーマがもっとも多いといわれている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 225</p>				